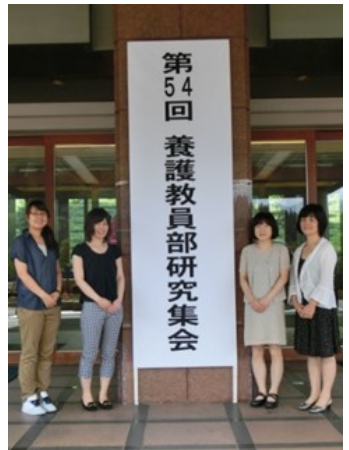


日教組養護教員部研究集会

7月26日（土）～28日（月）の3日間新潟県越後湯沢にて第54回日教組養護教員部研究集会が開催されました。福井県教組から養護教員5名が参加しました。この会は略して「日養研」と呼ばれ、全国からおよそ500名もの養護教員が集まり、互いの実践や情報を交流し今後の方向性を確認する貴重な場となっています。

日教組養護教員部は歴史的にも、子どもの健康・生命を守るための運動に永くとりくんでいます。その一つが、インフルエンザの集団予防接種廃止の運動です。1979年に学校でのインフルエンザ予防接種による7歳児のけいれん事故が起きたのをきっかけに、地域・保護者と一体となって運動をすすめたそうです。現在、学校では法に規定されていない健康診断項目が入ってきたり、集団でフッ素洗口をさせたりする動きがあり、本当に子どもたちに必要なものなのか、全国の養護教員の実践や事例を出し合いながら、協議しました。



日教組養護教員部長 原 美紀さん



第3分科会



全体交流会での県教組参加者

宮崎小学校の安藤真由美先生に、今年度と来年度にわたり北陸ブロックの代表として保健研究員を務めていただいています。この日養研でも、運営にたずさわり、交流会で会うことができました。



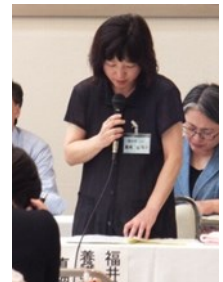
2014養護教員部学習会 Report

北陸ブロック養護教員部学習会



8月9日（土）～10日（日）に、新潟市内の新潟東映ホテルを会場に、北陸ブロック養護教員部学習会が開催されました。台風13号が近づく危うい天候でしたが、福井からは22名が参加することができました。

1日目は、開会行事後、各県の活動報告や日教組養護教員部副部長である高橋恵美子さんから、学校保健安全法施行規則改正（健康診断関係）やアレルギー疾患への対応、HPV（子宮頸がん予防）ワクチン等の予防接種、フッ素洗口等についての報告がありました。特に、むし歯予防対策として、地域で条例がつけられ、急速に学校でのフッ素洗口が広がっていることが伝えられました。その後、新潟大学名誉教授安保徹氏による「健康を守る生活と食事」と題する講演では、交感神経と副交感神経の両方をバランスよく保つ生活についてお話を伺いました。2日目は3つの分科会に分かれ、各テーマごとに今日的課題について協議が行われました。第3分科会では、坂井支部の坪川正美先生が「子どものこころの健康 スクールカウンセラーの配置状況から」というテーマで提案し、スクールカウンセラーの活用について協議がもたれました。



各県活動報告をする真柄部長



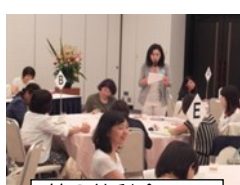
講演 医学博士 安保 徹氏



日教組副部長 高橋三恵子さん



第3分科会提案 坪川正美養護教員



第3分科会 グループ協議

